

調査事項

行政改革について

■ 第3期施設予約システムの導入について

・ 資料1 : 1 ページ

■ スマートワークプロジェクトについて

・ 資料2 : 2 ページ

第3期施設予約システムの導入について

1 目 的

現行の第2期施設予約システム（以下「現システム」という。）が、令和9年3月末をもって契約満了となることから、新たに第3期施設予約システム（以下「新システム」という。）を導入する。

2 導入システム概要

東京都が主導し、市区町村で共同調達している「いつでも貸館」を導入する。導入により以下のメリットが挙げられる。

（1）キャッシュレス決済の導入

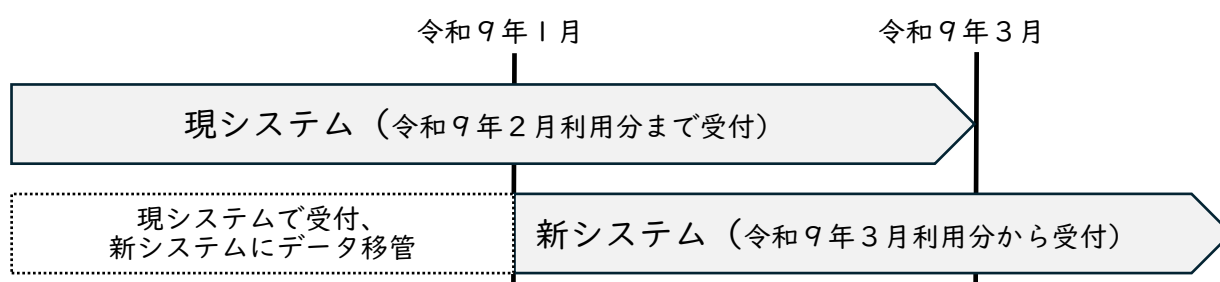
キャッシュレス決済（クレジットカード、PayPay）導入に向け、検討している。

（2）コスト削減（見込み）※機器調達、初期設定等のインシタルコスト含む。

区分	総額	期間	月額
現システム	56,453 千円	54 箇月	1,046 千円
新システム	27,005 千円	57 箇月	474 千円
差額	▲29,448 千円		▲572 千円

3 導入スケジュール

（1）導入スケジュール概要



（2）対象施設

- ・ いずみホール
- ・ 地域センター（6 館）
- ・ 教育センター
- ・ 戸倉第一・第二テニスコート
- ・ 室内プール
- ・ 生きがいセンター（3 館）
- ・ cocobunji プラザ
- ・ 公民館（5 館）
- ・ 市民スポーツセンター
- ・ 本多武道館
- ・ アクティ・ココブンジ
- ・ 多喜窪公会堂
- ・ 国分寺駅北口駅前広場
- ・ 福祉センター
- ・ ひかりスポーツセンター
- ・ けやき運動場
- ・ いきいきセンター

スマートワークプロジェクトについて

1 趣 旨

業務改革と働き方改革を一体的に推進し、職員が能力を十分に発揮できる働きやすい職場環境を整備するとともに、市民サービスの向上を図るため、「スマートワークプロジェクト」を実施する。

2 目 的

- ① 職員が健康に、意欲を持って、最大限能力を発揮できるよう働き方を見直す。
- ② 働き方の見直しにより生じた時間で業務改革し、市民サービスの向上を図る。
- ③ 働き方改革と業務改革の好循環により、持続可能で質の高い行政サービスの提供を実現する。

3 取組内容

「スマートワークプロジェクト」の実施に当たり、庁内検討組織を立ち上げ、まずは次の2項目について検討を行う。

① ランチシフト

現状、一部を除き、12時～13時と定められている休憩時間について、業務の性質・部署の人員体制等に応じて運用を見直し、休憩時間を柔軟に取得できるように見直す。

② 窓口受付時間の短縮

現状、8時30分～17時としている窓口受付時間について、前後の時間を短縮することにより、準備・後処理を勤務時間内に行えるようにする。

また、短縮した時間を活用し、部署内での業務情報や事例の共有、職員研修等による人材育成、業務改革の検討等を行えるようにする。